

重資金ありがとうございました

その後、以下の方々から軍資金をお送りいただきました。誠にありがとうございました。お陰さまで赤字にはなっておりませんが、現時点の資金は約 145,000 円ということでありまして、決して裕福ではありません。未だボーナスを使いきっていない方々、ひとつよろしくお願ひいたします。

第6期生 柴田 哲男 10,000円

第32期生 杉本 晴紀 5,000円

振込先は次の通りですのよろしく。

口座番号 東京5-91793

口座名称 東京都立西高等学校フットボール部OB会

総会の御案内—お集まり下さい。

久しぶりに、全員集合といきたいものです。過去の集りは次の通りで、今回は第5回になります。

第1回 昭和53年8月27日

第2回 昭和54年9月16日

第3回 昭和55年9月14日

第4回 昭和56年6月14日

2年振りですので、盛大なパーティをと思います。パーティを盛りあげる最大の要因は、会費の多寡ではなく、大勢お集まりいただくことだと思います。“下記要領にて”と考えておりますので、今から手帳に書き込んでおいて下さい。

— 言已 —

日 時 昭和58年9月18日(日) 1500~1730

場 所 西高会館

会 費 浪人 タダ

学 生 ￥2,000円程度

社会人 ￥5,000円以上

女 性 隨意

あとがき

雄美会だよりNo.15いかがでしたか？

8月21日(日)は高校審判部のミーティングがあります。ご存知のように高校審判部には西高OBが沢山おります。当日合宿に顔を出されると、何かと交流できるのではないかと思います。また25日はOB戦が予定されているようですので、特に若手OBは道具持参でどうぞ。

梅雨明けて連日の猛暑(これは推測)、健康に御注意下さい。

(伝田記)

西高フットボール部
雄美会だより

No.15 83-7-31
OB会事務局

はじめに

暑中御見舞い申し上げます。皆様如何お過しでしょうか？

大変遅くなってしまいましたが、雄美会だよりNo.15をお送りいたします。

春の大会では、我が西高はあまり振いませんでしたが、聞くところによりますと、今年は新人の“当り年”らしく、母校の現役は何と32人、まさに優勝を狙える陣容のようです。雄美会だよりNo.15のハイライトは、西高コーチ・久志野臣史(くしの・たかしー第33期生)君から皆様へ御送りする必勝のメッセージです。盛り沢山な内容とは申せませんが、ひとつ最後まで御付合い下さい。

立教高が初優勝—春の東京大会

春の東京大会は昭和58年4月10日から5月22日にかけて行なわれ、西高、麻布高、日大三高、武蔵村山東高の各グランドで、熱戦が展開されました。

我が西高は初戦で大泉北高を26-0で一蹴したのですが、第2戦ではどういう訳か、早実という学校に大苦戦、あわやというところのようでしたが、結局は7-6で辛勝。

(苦戦した理由は簡単。雄美会だよりNo.14にてクダラナイ事を書いた罰でしょう)
その報いは第3戦にも続き、予想通り(!)立教高に完敗。

準決勝、決勝は日大桜丘高、日大三高、駒場学園高、立教高の4チームで大激戦を演じ、結局立教高の初優勝ということになりました。

成績は次頁の通りです。

関東大会は再び慶應高が優勝

東京大会に引き続き、関東大会が6月5日(日大三高グランド)、6月12日(西高グランド)に行なわれました。成績は別表の通りですが、いずれも実力伯仲、大激戦。久しぶりに、これぞ高校フットボールというゲームを我々に見せてくれました。

この会報が皆様の手許に届く頃は、多分高校野球一色の頃と思いますが、最近の高校フットボールは大変発展し、毎ゲーム熱の入った戦いが展開され、高校野球に勝るとも劣らない面白さです。残念ながら未だ、TV局は不勉強のようで、中継車が西高に来るまでには至っておりません。中継がなければ止むを得ません。見に行くしかありません。皆様、どうぞグランドへお出かけ下さい。

関東大会の決勝は神奈川の慶應高と埼玉の立教高ということで、東京ひとり蚊屋の外。口惜しいから結果しか書かない。優勝は慶應高、第2位は立教高。